

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 憩いの家

目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 02 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	入居時に、利用者や家族と、重度化に向けた支援を説明し、医療連携の指針の中に重度化や看取りの考え方が記入されているが、今後は文書化し利用者、家族、職員、主治医等と日常的に連携し、利用者が安心して暮らせる終末期の支援をしていく。	ターミナルケアの指針を作成し、利用者、家族の承認を得て、家族と連携を取りながら、利用者の重度化に向けた支援体制を構築していく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。